【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2012-92148(P2012-92148A)
【公開日】平成24年5月17日(2012.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2012-019
【出願番号】特願2012-25785(P2012-25785)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/127　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/24　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4745　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/475　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/127
Ａ６１Ｋ　47/24
Ａ６１Ｋ　47/28
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/4745
Ａ６１Ｋ　31/475
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成25年2月12日(2013.2.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
組成物であって、該組成物は、
ａ）抗新生物薬物；ならびに
ｂ）遊離の抗新生物薬物および沈殿した抗新生物薬物を有するリポソーム、
を含み、ここで、該リポソーム中の該沈殿した抗新生物薬物は、該抗新生物薬物の総量の少なくとも５０％であり、該リポソームは、スフィンゴミエリンおよびコレステロールを含む、
組成物。
【請求項２】
抗新生物薬物の血漿循環半減期を調節するための組成物であって、該組成物は、
遊離の抗新生物薬物、および中でカプセル化され沈殿した抗新生物薬物を有するリポソーム、
を含み、ここで、該リポソーム中の沈殿した抗新生物薬物の量は、抗新生物薬物の総量の少なくとも５０％である、
組成物。
【請求項３】
前記抗新生物薬物は、

（ａ）カンプトセシン；
（ｂ）ビンカアルカロイド；または
（ｃ）それらの組み合わせ、
である、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
前記カンプトセシンが、イリノテカン、トポテカン、９－アミノカンプトセシン、１０，１１－メチレンジオキシカンプトセシン、９－ニトロカンプトセシン、ＴＡＳ１０３、７－（４－メチル－ピペラジノ－メチレン）－１０，１１－エチレンジオキシ－２０（Ｓ）－カンプトセシン、および７－（２－Ｎ－イソプロピルアミノ）エチル）－２０（Ｓ）－カンプトセシンからなる群より選択されるメンバーである、請求項３に記載の組成物。
【請求項５】
前記カンプトセシンがトポテカンである、請求項３に記載の組成物。
【請求項６】
前記ビンカアルカロイドが、ビンクリスチン、ビンブラスチン、ビンオレルビン、およびビンデシンからなる群より選択されるメンバーである、請求項３に記載の組成物。
【請求項７】
前記遊離の抗新生物薬物と前記沈殿した抗新生物薬物とが異なる、請求項１～６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項８】
前記抗新生物薬物対脂質の割合が、
（ａ）０．００５～１：１（ｗ／ｗ）；
（ｂ）０．０５～０．９：１（ｗ／ｗ）；または
（ｃ）０．１～０．５：１（ｗ／ｗ）
である、請求項１～７のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項９】
前記リポソームが、スフィンゴミエリンおよびコレステロールを、７５／２５モル％／モル％スフィンゴミエリン／コレステロールから３０／５０モル％／モル％スフィンゴミエリン／コレステロールの範囲で含む、請求項１～８のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１０】
前記リポソームが、スフィンゴミエリンおよびコレステロールを、
（ａ）３０：５０モル比；
（ｂ）５０：５０モル比；
（ｃ）５５：４５モル比；または
（ｄ）７５：２５モル比；
で含む、請求項１～９のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１１】
（ｃ）カプセル化された活性薬剤を有さないリポソームをさらに含む、請求項１～１０のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１２】
活性薬剤を含むリポソーム対カプセル化された薬剤を有さないリポソームの割合が、
（ａ）１：０．５～１：１０００；
（ｂ）１：１～１：１００；
（ｃ）１：２～１：１０；または
（ｄ）１：３～１：５
である、請求項１～１１のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１３】
前記組成物は、前記抗新生物薬物の沈殿を増強する成分を含む、請求項１～１２のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１４】
前記成分は、モノアニオン、ジアニオン、トリアニオン、または多価アニオンである、請

求項１３に記載の組成物。
【請求項１５】
溶液中のビノレルビンおよび沈殿したビノレルビンを有するリポソームを含む組成物であって、該リポソーム中の該沈殿したビノレルビンは、該ビノレルビンの総量の少なくとも５０％であり、該リポソームは、スフィンゴミエリンおよびコレステロールを、７５／２５モル％／モル％スフィンゴミエリン／コレステロールから３０／５０モル％／モル％スフィンゴミエリン／コレステロールの範囲で含み、該ビノレルビンの脂質に対する割合は、０．２～０．３：１（ｗ／ｗ）である、組成物。
【請求項１６】
癌の処置のための医薬の製造における、請求項１～１５のいずれか１項に記載の組成物の使用。